

## 基本計画書

基本計画									
事項	記入欄						備考		
計画の区分	研究科の専攻の設置								
フリガナ設置者	ガッコウホウジン メイジダイガク 学校法人 明治大学								
フリガナ大学の名称	メイジダイガク ダイガクイン 明治大学大学院 (Meiji University Graduate School)								
大学本部の位置	東京都千代田区神田駿河台一丁目1番地								
大学の目的	学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、又は高度の専門性の求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を養い、文化の発展に寄与することを目的とする。								
新設学部等の目的	<p><b>【ネットワークデザイン専攻】</b>                      本専攻では、様々な形態で時代とともに変遷していくネットワークを工学的な視点から運用、計画、解析することができる人材を育成する。現代社会においてネットワークは種々のものを繋ぐことによって、新たな付加価値を創造する特性がある。そのため、本専攻ではネットワークにおけるユーザの行動パターン、ユーザ満足度、ビジネスモデルに対して分析力を持った人材を育てる。                      博士前期課程では、持続可能な社会の基盤を支えるネットワークシステムの運用、計画を行う高度な専門力を持った視野の広い技術者を育成する。                      博士後期課程では、主体的に新分野を開拓する独創力があり、国際的に活躍するグローバルな人材を育成する。</p> <p>本専攻では、IoT (Internet of Things) によるネットワーク社会の実現に向けて、環境エネルギー、ビジネス工学、ライフサポートの3つのネットワーク応用分野に重点を置き、持続可能な社会基盤を支える高度かつ柔軟なネットワークシステム（センサー、ネットワーク、計算プラットフォームを含む）の構築を目指し、そのための人材を養成する。これは、同研究科先端メディアサイエンス専攻のように、人に豊かさを与えるために、人の感性や心理を考慮した情報メディアシステムとヒューマンインタフェースの構築を目指している専攻とは、養成する人材像が異なる。</p>								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部】 総合数理学部 ネットワークデザイン学科
	先端数理学研究科 [Graduate School of Advanced Mathematical Sciences] ネットワークデザイン専攻(M) [Network Design Program] ネットワークデザイン専攻(D) [Network Design Program]	2	36	—	72	修士 (理学・工学)	平成29年4月 第1年次	東京都中野区中野4-21-1	
	計		39人	—	81人	博士 (理学・工学)	平成29年4月 第1年次		
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	<p>理工学研究科                      電気工学専攻 (M) [定員増] ( 7) (平成29年4月)                      機械工学専攻 (M) [定員増] ( 9) (平成29年4月)                      建築・都市学専攻 (M) ( 80) (平成28年4月届出予定)                      建築・都市学専攻 (D) ( 7) (平成28年4月届出予定)                      応用化学専攻 (M) [定員増] ( 5) (平成29年4月)                      情報科学専攻 (M) ( 40) (平成28年4月届出予定)                      情報科学専攻 (D) ( 3) (平成28年4月届出予定)                      数学専攻 (M) ( 15) (平成28年4月届出予定)                      数学専攻 (D) ( 3) (平成28年4月届出予定)                      物理学専攻 (M) ( 16) (平成28年4月届出予定)                      物理学専攻 (D) ( 3) (平成28年4月届出予定)</p> <p>先端数理学研究科                      現象数理学専攻 (M) [定員増] ( 5) (平成29年4月)                      先端メディアサイエンス専攻 (M) ( 45) (平成28年4月届出予定)                      先端メディアサイエンス専攻 (D) ( 6) (平成28年4月届出予定)</p> <p>理工学研究科                      建築学専攻 (M) (廃止) (△76)                      建築学専攻 (D) (廃止) (△ 5)                      基礎理工学専攻 (M) (廃止) (△61)                      基礎理工学専攻 (D) (廃止) (△10)                      新領域創造専攻 (M) (廃止) (△35)                      新領域創造専攻 (D) (廃止) (△ 5)</p> <p>※平成29年4月学生募集停止</p>								

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	ネットワークデザイン専攻(M)	15科目	5科目	0科目	20科目	30単位			
ネットワークデザイン専攻(D)	2科目	0科目	0科目	2科目	-単位				
教	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計		
新	先端数理科学研究科		人	人	人	人	人	人	人
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
設	ネットワークデザイン専攻 (博士前期課程)		5	5	2	0	12	0	11
	(5)	(5)	(2)	(0)	(12)	(0)	(11)		
	ネットワークデザイン専攻 (博士後期課程)		5	3	0	0	8	0	1
	(5)	(3)	(0)	(0)	(8)	(0)	(1)		
	先端メディアサイエンス専攻 (博士前期課程)		7	8	1	0	16	0	13
	(7)	(8)	(1)	(0)	(16)	(0)	(13)	平成28年4月届出済み	
	先端メディアサイエンス専攻 (博士後期課程)		7	5	0	0	12	0	0
	(7)	(5)	(0)	(0)	(12)	(0)	(0)	平成28年4月届出済み	
	理工学研究科								
	建築・都市学専攻 (博士前期課程)		17	8	2	0	27	0	28
	(17)	(8)	(2)	(0)	(27)	(0)	(28)	平成28年4月届出済み	
	建築・都市学専攻 (博士後期課程)		11	4	0	0	15	0	0
	(11)	(4)	(0)	(0)	(15)	(0)	(0)	平成28年4月届出済み	
	情報科学専攻 (博士前期課程)		9	1	2	0	12	0	16
(10)	(1)	(2)	(0)	(13)	(0)	(16)	平成28年4月届出済み		
情報科学専攻 (博士後期課程)		9	0	0	0	9	0	0	
(9)	(0)	(0)	(0)	(9)	(0)	(0)	平成28年4月届出済み		
数学専攻 (博士前期課程)		8	2	5	0	15	0	6	
(8)	(2)	(5)	(0)	(15)	(0)	(6)	平成28年4月届出済み		
数学専攻 (博士後期課程)		8	0	0	0	8	0	0	
(8)	(0)	(0)	(0)	(8)	(0)	(0)	平成28年4月届出済み		
物理学専攻 (博士前期課程)		9	5	1	0	15	0	13	
(9)	(5)	(1)	(0)	(15)	(0)	(15)	平成28年4月届出済み		
物理学専攻 (博士後期課程)		7	4	0	0	11	0	0	
(7)	(4)	(0)	(0)	(11)	(0)	(0)	平成28年4月届出済み		
計		55	29	13	0	97	0	-	
		(56)	(29)	(13)	(0)	(98)	(0)	(-)	
既	法学研究科 公法学専攻 (博士前期課程)		26	1	0	0	27	0	11
	(26)	(1)	(0)	(0)	(27)	(0)	(11)		
公法学専攻 (博士後期課程)		16	0	0	0	16	0	1	
(16)	(0)	(0)	(0)	(16)	(0)	(1)			
民事法学専攻 (博士前期課程)		19	6	0	0	25	0	8	
(19)	(6)	(0)	(0)	(25)	(0)	(8)			
民事法学専攻 (博士後期課程)		16	0	0	0	16	0	2	
(16)	(0)	(0)	(0)	(16)	(0)	(2)			
商学研究科 商学専攻 (博士前期課程)		51	1	0	0	52	0	4	
(51)	(1)	(0)	(0)	(52)	(0)	(4)			
商学専攻 (博士後期課程)		41	0	0	0	41	0	1	
(41)	(0)	(0)	(0)	(41)	(0)	(1)			
政治経済学研究科 政治学専攻 (博士前期課程)		22	3	0	0	25	0	6	
(22)	(3)	(0)	(0)	(25)	(0)	(6)			
政治学専攻 (博士後期課程)		19	1	0	0	20	0	0	
(19)	(1)	(0)	(0)	(20)	(0)	(0)			
経済学専攻 (博士前期課程)		25	4	0	0	29	0	2	
(25)	(4)	(0)	(0)	(29)	(0)	(2)			
経済学専攻 (博士後期課程)		25	0	0	0	25	0	0	
(25)	(0)	(0)	(0)	(25)	(0)	(0)			
組	経営学研究科 経営学専攻 (博士前期課程)		32	7	2	0	41	0	30
	(32)	(7)	(2)	(0)	(41)	(0)	(30)		
	経営学専攻 (博士後期課程)		27	0	0	0	27	0	0
	(27)	(0)	(0)	(0)	(27)	(0)	(0)		
	文学研究科 日本文学専攻 (博士前期課程)		7	1	1	0	9	0	3
	(7)	(1)	(1)	(0)	(9)	(0)	(3)		
日本文学専攻 (博士後期課程)		7	1	0	0	8	0	1	
(7)	(1)	(0)	(0)	(8)	(0)	(1)			
英文学専攻 (博士前期課程)		8	3	0	0	11	0	1	
(8)	(3)	(0)	(0)	(11)	(0)	(1)			
英文学専攻 (博士後期課程)		7	3	0	0	10	0	0	
(7)	(3)	(0)	(0)	(10)	(0)	(0)			

織

設

の

概

仏文学専攻 (博士前期課程)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	3 (3)
仏文学専攻 (博士後期課程)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	0 (0)
独文学専攻 (博士前期課程)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	1 (1)
独文学専攻 (博士後期課程)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	0 (0)
演劇学専攻 (博士前期課程)	2 (2)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	2 (2)
演劇学専攻 (博士後期課程)	2 (2)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	0 (0)
文芸メディア専攻 (修士課程)	5 (5)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	1 (1)
史学専攻 (博士前期課程)	16 (16)	7 (7)	4 (4)	0 (0)	27 (27)	0 (0)	11 (11)
史学専攻 (博士後期課程)	15 (15)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	0 (0)
地理学専攻 (博士前期課程)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	3 (3)
地理学専攻 (博士後期課程)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	0 (0)
臨床人間学専攻 (博士前期課程)	11 (11)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	22 (22)
臨床人間学専攻 (博士後期課程)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	0 (0)
情報コミュニケーション研究科 情報コミュニケーション学専攻 (博士前期課程)	16 (16)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	13 (13)
情報コミュニケーション学専攻 (博士後期課程)	9 (9)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	0 (0)
教養デザイン研究科 教養デザイン専攻 (博士前期課程)	25 (25)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	31 (31)	0 (0)	3 (3)
教養デザイン専攻 (博士後期課程)	21 (21)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	1 (1)
国際日本学研究科 国際日本学専攻 (博士前期課程)	20 (20)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	27 (27)	0 (0)	9 (9)
国際日本学専攻 (博士後期課程)	13 (13)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	0 (0)
グローバル・ガバナンス研究科 グローバル・ガバナンス専攻 (博士後期課程)	9 (9)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)
理工学研究科 電気工学専攻 (博士前期課程)	13 (14)	11 (13)	2 (2)	0 (0)	26 (29)	0 (0)	5 (5)
電気工学専攻 (博士後期課程)	13 (14)	5 (6)	0 (0)	0 (0)	18 (20)	0 (0)	0 (0)
機械工学専攻 (博士前期課程)	13 (13)	9 (9)	4 (4)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	3 (3)
機械工学専攻 (博士後期課程)	13 (13)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	0 (0)
応用化学専攻 (博士前期課程)	8 (8)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	6 (6)
応用化学専攻 (博士後期課程)	8 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)
先端数理科学研究科 現象数理学専攻 (博士前期課程)	6 (11)	4 (5)	2 (2)	0 (0)	12 (18)	0 (0)	4 (4)
現象数理学専攻 (博士後期課程)	6 (12)	4 (5)	2 (2)	0 (0)	12 (19)	0 (0)	3 (3)
農学研究科 農芸化学専攻 (博士前期課程)	6 (6)	10 (10)	3 (3)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	6 (6)
農芸化学専攻 (博士後期課程)	6 (6)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	0 (0)
農学専攻 (博士前期課程)	9 (9)	7 (7)	3 (3)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	19 (19)
農学専攻 (博士後期課程)	9 (9)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	0 (0)
農業経済学専攻 (博士前期課程)	7 (7)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	4 (4)
農業経済学専攻 (博士後期課程)	7 (7)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	0 (0)

要 分	生命科学専攻 (博士前期課程)	11 (11)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	9 (9)
	生命科学専攻 (博士後期課程)	11 (11)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	0 (0)
	法務研究科 法務専攻 (専門職学位課程)	42 (42)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (42)	0 (0)	36 (36)
	ガバナンス研究科 ガバナンス専攻 (専門職学位課程)	11 (11)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	58 (58)
	グローバル・ビジネス研究科 グローバル・ビジネス専攻 (専門職学位課程)	16 (16)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	17 (17)	0 (0)	46 (46)
	会計専門職研究科 会計専門職専攻 (専門職学位課程)	13 (13)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	16 (16)
	研究・知財戦略機構 (大学院担当)	3 (3)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	0 (0)
	国際連携機構 (大学院担当)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	農場 (大学院担当)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	大学院共通	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	3 (3)	3 (3)	6 (6)
	計	462 (469)	126 (129)	37 (37)	1 (1)	626 (636)	3 (3)	— (—)
	合 計	517 (525)	155 (158)	50 (50)	1 (1)	723 (734)	3 (3)	— (—)
教員以外の職員の概要	職 種	専 任		兼 任		計		
	事 務 職 員	488 (488)		476 (476)		964 (964)		
	技 術 職 員	36 (36)		12 (12)		48 (48)		
	図 書 館 専 門 職 員	32 (32)		3 (3)		35 (35)		
	そ の 他 の 職 員	30 (30)		0 (0)		30 (30)		
計	586 (586)		491 (491)		1077 (1077)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	255,985 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	255,985 m <sup>2</sup>			
	運 動 場 用 地	242,724 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	242,724 m <sup>2</sup>			
	小 計	498,709 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	498,709 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	700,753 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	700,753 m <sup>2</sup>			
合 計	1,199,462 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	1,199,462 m <sup>2</sup>				
校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	319,203 m <sup>2</sup> ( 319,203 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	319,203 m <sup>2</sup> ( 319,203 m <sup>2</sup> )				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	282室	209室	450室	30室 (補助職員 183人)	22室 (補助職員 24人)	補助職員にT A を含む		
専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	ネットワークデザイン専攻			12 室				
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	ネットワークデザイン専攻	39,668[7,552] (38,580 [7,345])	78 [21] (76 [21])	12,408 [11,819] (12,408 [11,819])	35,745 (35,745)	257 (257)	0 ( 0 )	
	計	39,668[7,552] (38,580 [7,345])	78 [21] (76 [21])	12,408 [11,819] (12,408 [11,819])	35,745 (35,745)	257 (257)	0 ( 0 )	
図書館	面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数				
	28,705m <sup>2</sup>	3,440席		2,744,566冊				
体育館	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	15,622.42m <sup>2</sup> バレーコート, テニスコート, ゴルフ練習場, プール等							

大学全体

大学全体

その他には農場、寄宿舍、借用地、附属学校施設を含む。

大学全体

大学全体

補助職員にT Aを含む

大学共有分図書数  
2,705,355  
[938,589]  
学術雑誌数  
39,416  
[13,750]  
電子ジャーナル数  
12,408  
[11,819]  
視聴覚資料は大学全体

大学全体

保存書庫を含む  
体育館には駿河台  
スポーツホール、中野多  
目的ホールを含む

経費の見積り及び維持の方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		教員1人当り研究費等		3,909千円	3,930千円	3,929千円	－千円	－千円		－千円
		共同研究費等		8,111千円	8,175千円	8,241千円	－千円	－千円		－千円
		図書購入費	649千円	2,858千円	2,897千円	2,936千円	－千円	－千円		－千円
	設備購入費	12,724千円	54,482千円	53,706千円	52,941千円	－千円	－千円	－千円		
先端数理学研究科	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
学生1人当り納付金	博士前期課程	1,120千円	920千円	－千円	－千円	－千円	－千円	－千円		
	博士後期課程	1,050千円	850千円	850千円	－千円	－千円	－千円	－千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			補助金、資産運用の果実及び寄付金その他収入をもって維持運営する。							
既設大学の状況	大学の名称	明治大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	法学部								【法学部，商学部，政治経済学部，文学部，経営学部，情報コミュニケーション学部】 (1・2年次) 東京都杉並区永福1-9-1 (3・4年次) 東京都千代田区神田駿河台1-1	
	法律学科	4	800	－	3,200	学士(法学)	1.13	昭和24年度		
	商学部									
	商学科	4	1,000	－	4,000	学士(商学)	1.06	昭和24年度		
	政治経済学部									
	政治学科	4	250	－	1,000	学士(政治学)	1.06	昭和24年度		
	経済学科	4	610	－	2,440	学士(経済学)	1.10	昭和24年度		
	地域行政学科	4	140	－	560	学士(地域行政学)	1.15	平成14年度		
	文学部									
	文学科	4	415	－	1,660	学士(文学)	1.09	昭和24年度		
	史学地理学科	4	260	－	1,040	学士(文学)	1.13	昭和24年度		
	心理社会学科	4	100	－	400	学士(文学)	1.11	平成14年度		
	理工学部									
	電気電子工学科	4	－	－	－	－	－	平成元年度		
	電子通信工学科	4	－	－	－	－	－	平成元年度		
	電気電子生命学科	4	205	－	865	学士(工学)	1.05	平成19年度		
	機械工学科	4	120	－	480	学士(工学)	1.04	平成元年度		
	機械情報工学科	4	120	－	480	学士(工学)	1.05	平成元年度		
	建築学科	4	150	－	570	学士(工学)	1.10	平成元年度		
	応用化学科	4	110	－	440	学士(工学)	1.16	平成元年度		
	情報科学科	4	110	－	425	学士(理学)	1.10	平成元年度		
	数学科	4	55	－	220	学士(理学)	1.03	平成元年度		
	物理学科	4	55	－	220	学士(理学)	1.07	平成元年度		
	農学部									
	農学科	4	130	－	520	学士(農学)	1.06	昭和24年度		
	食糧環境政策学科	4	130	－	520	学士(農学)	1.08	昭和24年度		
	農芸化学科	4	130	－	520	学士(農学)	1.14	昭和28年度		
	生命科学科	4	130	－	520	学士(農学)	1.08	平成12年度		
	経営学部		650		2,600		1.12			
	経営学科	4	400	－	1,560	学士(経営学)	－	昭和28年度		
	会計学科	4	150	－	640	学士(経営学)	－	平成14年度		
	公共経営学科	4	100	－	400	学士(経営学)	－	平成14年度		
	情報コミュニケーション学部									
	情報コミュニケーション学科	4	450	－	1,800	学士(情報コミュニケーション学)	1.11	平成16年度		
	国際日本学部									
	国際日本学科	4	350	－	1,400	学士(国際日本学)	1.11	平成20年度		
	総合数理学部									
	現象数理学科	4	80	－	320	学士(理学)	1.23	平成25年度		
	先端メディアサイエンス学科	4	100	－	400	学士(理学)	1.27	平成25年度		
	ネットワークデザイン学科	4	80	－	320	学士(工学)	1.10	平成25年度		

平成19年度より  
学生募集停止  
平成19年度より  
学生募集停止

平成27年度入学生  
より2年次から  
学科所属

既 設 大 学 等 の 状 況	法学研究科											【法学研究科、商学研究科、政治経済学研究科、経営学研究科、文学研究科、情報コミュニケーション研究科】	
	公法学専攻											東京都千代田区神田駿河台1-1	
	博士前期課程	2	20	—	40	修士（法学）	0.87	昭和27年度					
	博士後期課程	3	6	—	18	博士（法学）	0.66	昭和29年度					
	民事法学専攻												
	博士前期課程	2	20	—	40	修士（法学）	0.42	昭和27年度					
	博士後期課程	3	6	—	18	博士（法学）	0.21	昭和29年度					
	商学研究科												【理工学研究科（建築学専攻国際プロフェッショナルコース、新領域創造専攻を除く）、農学研究科】
	商学専攻												神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1
	博士前期課程	2	35	—	70	修士（商学）	0.86	昭和27年度					
	博士後期課程	3	6	—	18	博士（商学）	0.77	昭和29年度					
	政治経済学研究科												
	政治学専攻												
	博士前期課程	2	25	—	50	修士（政治学）	0.76	昭和27年度					
	博士後期課程	3	5	—	15	博士（政治学）	0.40	昭和29年度					
	経済学専攻												
	博士前期課程	2	35	—	70	修士（経済学）	0.66	昭和35年度					【教養デザイン研究科】
	博士後期課程	3	7	—	21	博士（経済学）	0.09	昭和38年度					東京都杉並区永福1-9-1
	経営学研究科												
	経営学専攻												
	博士前期課程	2	40	—	80	修士（経営学）	0.91	昭和34年度					【理工学研究科新領域創造専攻、建築学専攻国際プロフェッショナルコース・先端数理科学研究科・国際日本学研究科】
	博士後期課程	3	8	—	24	博士（経営学）	0.62	昭和34年度					東京都中野区中野4-21-1
	文学研究科												
	日本文学専攻												
	博士前期課程	2	6	—	12	修士（文学）	1.16	昭和39年度					
	博士後期課程	3	2	—	6	博士（文学）	2.33	昭和39年度					
	英文学専攻												
	博士前期課程	2	6	—	12	修士（文学）	0.25	昭和39年度					
	博士後期課程	3	2	—	6	博士（文学）	0.50	昭和39年度					
	仏文学専攻												
	博士前期課程	2	6	—	12	修士（文学）	0.24	昭和39年度					
	博士後期課程	3	2	—	6	博士（文学）	0.33	昭和39年度					
	独文学専攻												
博士前期課程	2	6	—	12	修士（文学）	0.16	昭和46年度						
博士後期課程	3	2	—	6	博士（文学）	0.16	昭和49年度						
演劇学専攻													
博士前期課程	2	6	—	12	修士（文学）	0.16	昭和46年度						
博士後期課程	3	1	—	3	博士（文学）	1.00	昭和49年度						
文芸メディア専攻													
修士課程	2	6	—	12	修士（文学）	1.41	平成23年度						
史学専攻													
博士前期課程	2	25	—	50	修士（史学）	0.76	昭和32年度						
博士後期課程	3	6	—	18	博士（史学）	0.99	昭和32年度						
地理学専攻													
博士前期課程	2	5	—	10	修士（地理学）	0.50	昭和32年度						
博士後期課程	3	2	—	6	博士（地理学）	0.33	昭和39年度						
臨床人間学専攻													
博士前期課程	2	14	—	28	修士（人間学）	0.71	平成17年度						
博士後期課程	3	4	—	12	博士（人間学）	0.41	平成19年度						
理工学研究科													
電気工学専攻													
博士前期課程	2	75	—	150	修士（工学・学術）	1.03	平成5年度						
博士後期課程	3	6	—	18	博士（工学・学術）	0.71	平成5年度						
機械工学専攻													
博士前期課程	2	77	—	154	修士（工学・学術）	0.89	平成5年度						
博士後期課程	3	7	—	21	博士（工学・学術）	0.14	平成5年度						
建築学専攻													
博士前期課程	2	76	—	152	修士（工学・学術）	0.90	平成5年度						
博士後期課程	3	5	—	15	博士（工学・学術）	0.46	平成5年度						



附属施設の概要	<p>名称：研究・知財戦略機構          目的：本大学において世界的水準の研究を推進するため、重点領域を定めて研究拠点の育成を図り、研究の国際化を推進するとともに、その成果を広く社会に還元する。          事業：①本大学における研究の戦略的推進、②研究を戦略的に推進するための研究環境の重点的整備、③研究資金確保のための活動、④研究の国際化推進のための活動、⑤研究面における社会との連携活動、⑥知的財産の創出、取得、管理及び活用</p>	
	<p>名称：国際連携機構          目的：本大学における国際的な教育交流及び学術・研究交流を推進し、本大学の教育・研究分野の高度化を図るとともに、教育・研究を通じ広く国際貢献を果たす          事業：①国際連携の推進に係る基本戦略の策定、②教育・研究を通じた国際貢献の推進</p>	
	<p>名称：図書館          目的：本大学の教育研究及び学習に必要な図書その他の学術情報資料を収集、整理、保存及び提供することにより、本大学における教育研究の進展に資するとともに、広く学術の発展に寄与する          所在地：          (中央図書館) 東京都千代田区神田駿河台1-1          (和泉図書館) 東京都杉並区永福1-9-1          (生田図書館) 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1          (中野図書館) 東京都中野区中野4-21-1          規模：延床面積28,705㎡(蔵書約270万冊、新聞・雑誌約3万9千タイトル、マイクロ資料、CD-ROM等の資料を所蔵)</p>	
	<p>名称：博物館          目的：資料等の収集、整理、保存及び展示を行い、本大学の学生、教職員、校友及び一般公衆の利用に供し、教育・研究に資するための事業を行う          所在地：東京都千代田区神田駿河台1-1 アカデミーコモン地下1階          規模：商品部門、刑事部門、考古部門の3部門を持つ</p>	
	<p>名称：心理臨床センター          目的：臨床心理学的諸問題にかかわる相談・援助活動及び調査・研究を行うことにより、社会貢献を図るとともに、実習機関として臨床心理士の養成を行い、本大学の教育・研究に資する          所在地：東京都千代田区神田駿河台1-1 アカデミーコモン7階          設置年月：平成16年4月          規模：205.31㎡(面接室3、遊戯療法室2、待合室2)</p>	
	<p>名称：工作工場          目的：理工学部(主に機械系)学生に、教科目として数種の簡単な機械要素製作を行わせることにより、工作機械における基本的な加工技術を取得させ、機械の設計・製作に関する全体的な理解を深めることを設置の目的としている          所在地：神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1 生田キャンパス内</p>	
	<p>名称：農場(黒川農場及び誉田農場)          目的：農場は、農場に関する実習その他の学生教育を行い、農場を活用した研究の推進を図るとともに、その成果を社会に還元する。          黒川農場          所在地：神奈川県川崎市麻生区          規模：総面積13.4ha、実習農場として利用されている          環境共生、自然共生、地域共生をコンセプトに未来型アグリエコファームを目指す          誉田農場          所在地：千葉県千葉市          規模：総面積26.1ha、農耕面積5.6ha。現在利用停止中</p>	

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校は、収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。



## 教 育 課 程 等 の 概 要

(先端数理科学研究科ネットワークデザイン専攻(M))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
主要科目	ネットワークデザインマスター研究Ⅰ	1前	2				○		5	5	2				
	ネットワークデザインマスター研究Ⅱ	1後	2				○		5	5	2				
	ネットワークデザインマスター研究Ⅲ	2前	4				○		5	5	2				
	ネットワークデザインマスター研究Ⅳ	2後	4				○		5	5	2				
	小計 (4科目)	—	12	0	0		—		5	5	2	0	0		
特修科目	再生可能エネルギー特論	1・2前		2			○		1						
	配電自動化システム特論	1・2後		2			○		1						
	グリーンコンピューティング特論	1・2後		2			○		1						
	アセットマネジメント特論	1・2前		2			○			1					
	エネルギーマーケット特論	1・2前		2			○		1						
	大規模データベース特論	1・2後		2			○			1					
	ウェブインテリジェンス特論	1・2前		2			○			1					
	確率統計的学習特論	1・2後		2			○				1				
	ロボット情報学特論	1・2後		2			○			1					
	バイオインフォマティクス特論	1・2前		2			○			1					
	ワイヤレスシステム特論	1・2前		2			○				1				
	ビジネスイノベーション特論	1・2後		2			○		1						
	アドバンストフィールドスタディ	1・2前		2				○	2						共同・集中
小計 (13科目)	—	0	26	0		—		4	5	2	0	0			
共通総合科目	先端数理科学研究総合講義 A	1・2前			2	○			3					兼5	オムニバス・集中
	先端数理科学研究総合講義 B	1・2後			2	○			1	1				兼7	オムニバス・集中
	Advanced Writing Skills for Graduate Study in Mathematics	1・2後			2	○								兼1	
	小計 (3科目)	—	0	0	6		—		3	1	0	0	0	兼11	
合計 (20科目)		—	12	26	6		—		5	5	2	0	0	兼11	
学位又は称号	修士 (工学) 又は修士 (理学)	学位又は学科の分野			理学関係, 工学関係										
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
1 本研究科の博士前期課程においては、原則として、2年以上在学して30単位以上を修得しなければならない。 2 各専攻における必修とする科目及び単位数は次のとおりとする。 ネットワークデザイン専攻 ネットワークデザイン研究Ⅰ～Ⅳの合計12単位 3 所属専攻の特修科目のうちから、8単位以上を修得しなければならない。 4 指導教員が研究指導上必要と認めた場合には、他の専攻の科目、共通総合科目、別表1の2に規定する研究科間共通科目、他の研究科の科目(専門職学位課程を含む。)及び単位互換協定による他の大学院の授業科目を履修することができる。この場合において、修得した単位は、次の単位数を限度として、上記1の単位数に含めることができる。 ネットワークデザイン専攻 10単位 5 学位論文作成のため、指導教員による必要な研究指導を受けなければならない。						1学年の学期区分		2学期							
						1学期の授業期間		14週							
						1時限の授業時間		100分							

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(先端数理科学研究科ネットワークデザイン専攻(D))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
(研究指導)	(研究指導)	1~3前・後							5	3					
	小計 (0科目) ※授業科目として開講せず。	—	0	0	0	—			5	3	0	0	0		
(発展講義科目)	先端数理科学発展講義A	1・2・3前		2		○									兼1 集中
	先端数理科学発展講義B	1・2・3後		2		○									兼1 集中
	小計 (2科目)	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0	兼1	
合計 (2科目)		—	0	4	0	—			5	3	0	0	0	兼1	
学位又は称号	博士 (工学) 又は博士 (理学)		学位又は学科の分野			理学関係, 工学関係									
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
<p>1 本研究科の博士後期課程においては、本研究科博士後期課程に3年以上在学して、所定の研究指導を受けなければならない。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、本研究科委員会の議を経て、博士後期課程に1年（標準修業年限が1年以上2年未満の修士課程又は専門職学位課程を修了した者にあつては、3年から当該修業年限を減じた期間）以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>2 学位論文作成のため、指導教員による必要な研究指導を受けなければならない。</p> <p>3 指導教員が研究指導上必要と認めた場合には、先端数理科学研究科発展講義A及びB、別表1の2に規定する研究科間共通科目、他の研究科の科目（専門職学位課程を含む。）並びに単位互換協定による他の大学院の授業科目を履修することができる。</p>						1学年の学期区分			2学期						
						1学期の授業期間			14週						
						1時限の授業時間			100分						

教 育 課 程 等 の 概 要

(総合数理学部ネットワークデザイン学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合教育科目	English I A	1前	1			○			1	1					兼4	
	English I B	1後	1			○			1	1					兼4	
	English I C	1前	1			○				1					兼3	
	English I D	1後	1			○				1					兼3	
	English II A	2前	1			○			1	2					兼4	
	English II B	2後	1			○			1	2					兼4	
	English III A	3前	1			○									兼2	
	English III B	3後	1			○									兼2	
	English Test Preparation	2・3・4前			1		○				1					
	科学哲学A	1・2・3・4前			2		○									兼1
	科学哲学B	1・2・3・4後			2		○									兼1
	哲学A	1・2・3・4前			2		○									兼1
	哲学B	1・2・3・4後			2		○									兼1
	歴史学A	1・2・3・4前			2		○									兼1
	歴史学B	1・2・3・4後			2		○									兼1
	心理学A	1・2・3・4前			2		○									兼1
	心理学B	1・2・3・4後			2		○									兼1
	芸術史A	1・2・3・4前			2		○									兼1
	芸術史B	1・2・3・4後			2		○									兼1
	スポーツ・健康科学	1・2・3・4前			2		○									兼1
	スポーツ実習A	1前		1					○							兼3
	スポーツ実習B	1後		1					○							兼3
	スポーツ実習C	2前		1					○							兼2
	スポーツ実習D	2後		1					○							兼2
	スポーツ実習E	2前後		1					○							兼1
	法学(日本国憲法)	1・2・3・4前後		2			○									兼1
	社会学A	1・2・3・4前		2			○									兼1
	社会学B	1・2・3・4後		2			○									兼1
	経済学A	1・2・3・4前		2			○									兼1
	経済学B	1・2・3・4後		2			○									兼1
	情報と職業	1・2・3・4前		2			○									兼1
	情報技術概論	1・2・3・4後		2			○									兼1
	地理学A	1・2・3・4前		2			○									兼1
	地理学B	1・2・3・4後		2			○									兼1
	考古学A	1・2・3・4前		2			○									兼1
	考古学B	1・2・3・4後		2			○									兼1
	環境とエネルギー	1・2・3・4後		2			○			1						
	社会と数学	1・2・3・4前		2			○									兼1
	調査と統計	1・2・3・4後		2			○									兼1
	学部間共通総合講座	1・2・3・4前後		2			○			1						
小計(40科目)	—		8	58	0		—		3	2	0	0	0	兼24	—	
基礎教育科目	総合数理概論 I	1前	2			○			2	2	1				兼10	
	総合数理概論 II	1後	2			○			2	3					兼10	
	微積分 I	1前	2			○									兼3	
	微積分 II	1後	2			○									兼3	
	基礎微積分 I	1前	2			○									兼1	
	基礎微積分 II	1後	2			○									兼1	
	微積分演習	1後	2					○								兼4
	線形代数 I	1前	2			○										兼1
	線形代数 II	1後	2			○										兼1
	確率・統計	1後		2			○									兼1

兼10 オムニバス  
兼10 オムニバス  
兼3 微積分 I・II 又は基礎微積分 I・II のいずれかを必修とする。  
兼1  
兼1  
兼4  
兼1  
兼1

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(総合数理学部ネットワークデザイン学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教育科目	プログラミング演習Ⅰ	1前	4				○			3	1					
	プログラミング演習Ⅱ	1後	4				○			3	1					
	アルゴリズム論	2前		2			○								兼1	
	論理とデジタル回路	2後		2			○		1						兼1	
	技術・情報倫理	2後	2				○								兼1	
	知的財産	2後		2			○								兼1	
	物理学入門	1前		2			○								兼1	
	物理学Ⅰ	1後		2			○			1					兼1	
	物理学Ⅱ	2前		2			○			1					兼1	
	物理学Ⅲ	2後		2			○								兼1	
	化学入門	1後		2			○								兼1	
	生物学入門	2前		2			○								兼1	
	小計 (22科目)		—	28	20	0	—			5	5	2	0	0	兼28	—
専門教育科目	基礎ネットワークデザイン	ネットワークデザイン概論	1前	2			○			6	5	2				オムニバス
		コンピュータネットワーク	1後		2		○				1					
		ネットワーク理論	2前		2			○				1				
		最適化の数理	2前		2			○					1			
		分散型コンピューティング	2後		2			○		1						
		ネットワークセキュリティ	2後		2			○			1					
		センサネットワーク	3前		2			○				1				
		フィールドスタディ	1前		1				○	3			1			
		ネットワークコア技術	ネットワークシステム・演習Ⅰ	1後	4				○			2				
	ネットワークシステム・演習Ⅱ		2前		4			○			2					
	ネットワークシステム・演習Ⅲ		2後		4			○					1			
	線形システム・演習Ⅰ		2後		4			○				1				
	線形システム・演習Ⅱ		3前		4			○		1						
	デジタルシステム		3後		2			○		1						
	コンピュータ概論		1前	2				○			1					
	コンピュータアーキテクチャ		2前		2			○		1						
	メディアコンピューティング		3前		2			○		1						
	シミュレーション実習Ⅰ		1後	2					○	1	1	1				兼1
	シミュレーション実習Ⅱ	2前	2					○		2						
シミュレーション実習Ⅲ	2後	2					○		2							
ネットワークデザイン実験	3前	2					○	3			1			兼1		
知能数理システム	知能数理概論	2前	2				○			2						
	予測システムⅠ	2後		2			○				1					
	予測システムⅡ	3前		2			○				1					
	最適化システムⅠ	2後		2			○		1							
	最適化システムⅡ	3前		2			○		1							
	知能制御システム	3前		2			○		1							
	不確定性の数理	3後		2			○					1				
	データマイニング	3後		2			○					1				
ネットワークデザイン	低炭素社会	3前		2			○				1					
	エネルギーネットワーク	3後		2			○				1					
	再生可能エネルギー	3後		2			○		1							
	クラウドコンピューティング	3前		2			○		1							
	マルチメディア	3後		2			○		1							
	移動体通信	3後		2			○					1				
	意思決定	3前		2			○					1				
	データベース	3前		2			○				1					
	マーケティング	3後		2			○		1							
	eコマース	3後		2			○			1						

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(総合数理学部ネットワークデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	ネットワークデザイン特別講義A	4前		2		○			1						兼6
	ネットワークデザイン特別講義B	4後		2		○				1					兼2
	総合数理ゼミナール	1前	2				○		5	5	2				
	ネットワークデザインゼミナール	2前	2				○		5	5	2				
	ネットワークデザイン研究Ⅰ	3前	2				○		5	5	2				
	ネットワークデザイン研究Ⅱ	3後	2				○		5	5	2				
	ネットワークデザイン研究Ⅲ	4前	4				○		4	5	2				
	ネットワークデザイン研究Ⅳ	4後	4				○		4	5	2				
小計 (47科目)	—	34	73	0	—	—	—	5	5	2	0	0	兼9	—	
合計 (109科目)		—	70	151	0	—	—	—	6	5	2	0	0	兼58	—
学位又は称号		学士 (工学)		学位又は学科の分野			工学								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
1 卒業に必要な単位数は、124単位以上とする。 2 総合教育科目は、18単位以上を修得しなければならない。 3 基礎教育科目及び専門教育科目は、次のとおり単位数を修得しなければならない。 ア 基礎教育科目から30単位以上 (選択必修科目4単位を含む。) イ 専門教育科目から70単位以上 (選択必修科目20単位を含む。)							1 学年の学期区分			2 期					
							1 学期の授業期間			1 5 週					
							1 時限の授業時間			9 0 分					

授 業 科 目 の 概 要			
(先端数理科学研究科ネットワークデザイン専攻(M))			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
主要科目	ネットワークデザインマスター研究Ⅰ	(概要) ネットワーク応用の研究分野として、環境エネルギー領域、ビジネス工学領域、ライフサポート領域を対象とし、各自の研究テーマに関連する文献調査を行う。また、従来研究との違いを明らかにして、各自の研究テーマの独自性を理解し、研究計画の立案と実施する能力を身に付けることを目標とする。各研究指導教員の授業内容は、下記の通りとする。	
		(1 森 啓之) <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅰ</b> 修士1年生としての研究の第1段階として、スマートグリッドの運用と計画の問題解決の手法として、大規模電力システムの高速計算手法、大域的最適化手法として進化的計算法および多目的進化計算法、カーネルマシンの非線形時系列予測、因果関係を明らかにするデータマイニングやグラフィカルモデリングの応用を考える。同時に、その分野の最先端技術を学習する。	
		(2 田村 滋) <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅰ</b> 再生可能エネルギーの計画・予測・運用・制御、電力貯蔵設備の運用・制御、電力エネルギーネットワークにこれらの設備を加えた場合の諸問題とその問題を解決するための電力エネルギーネットワークの計画・予測・運用・制御、従来からある電力エネルギーネットワークの設備とこれらの設備との協調運用・制御、再生可能エネルギー導入に対するビジネス評価などを対象として、関連研究の調査、シミュレーション・実験、論文執筆、プレゼンテーションを行う。	
		(3 福山 良和) <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅰ</b> 電力・ガス・熱・蒸気等の様々なエネルギーに対し、地域内の需要と供給を最適化する技術の理論研究を行う。具体的には、エネルギー供給設備の最適設備計画、運用計画・制御や各種エネルギー消費設備のエネルギーマネジメントを対象とし、自身の研究テーマに対する文献調査を通して、従来研究の歴史と課題を把握する。これを踏まえ、自身の研究テーマの独自性を理解し、これを論理的に文章化し研究計画立案ができる能力を身に付ける事を目標とする。	
		(4 笠 史郎) <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅰ</b> SDN (Software Defined Network) 技術を核として、物理レイヤからアプリケーションレイヤまでの一貫したネットワークデザインについて研究を行う。具体的には、1) Transport SDN技術、2) SDN技術のネットワークエッジへの適用、3) LiFi技術とSDN技術との連携をテーマとして研究を行う。各自の研究テーマに関連する文献調査を行い、各自の研究テーマの独自性を理解し、研究計画の立案と実施する能力を身に付けることを目標とする。	
		(5 吉田 明正) <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅰ</b> 計算科学アプリケーションを高速化するための並列分散処理に関する研究を行う。具体的には、マルチコアによる粗粒度タスク並列処理、並列化コンパイラ、メモリ階層を考慮したデータローカリティ最適化、GPUによるメディアアプリケーションの高速化、グリーンコンピューティングを対象として、各自の研究テーマに関連する文献調査を行う。また、従来研究との違いを明らかにして、各自の研究テーマの独自性を理解し、研究計画の立案と実施する能力を身に付けることを目標とする。	
(6 浦野 昌一) <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅰ</b> エネルギーネットワークの研究テーマに対して、その解決策として数理科学、情報技術の新たな応用を提案し、その妥当性を計算機シミュレーションなどにより検証することで研究を実施する。具体的には、エネルギーネットワークへの位相計測情報の応用や直流連系を伴うネットワークの安定性解析、広域連系ネットワークの解析技術などについて、関連研究の調査、ソフトウェア設計、実験検証、論文執筆、プレゼンテーションなどを行う。			

	<p>(7 秋岡 明香)</p> <p><b>ネットワークデザインマスター研究I</b></p> <p>情報科学分野全般の知識や経験を広く身につけると同時に、各自の興味に応じて特定の分野を深く研究する。具体的には、ゲーミフィケーション、人工知能、機械学習、セキュリティ、プログラミング言語、並列分散処理などを主要な分野とするが、これに限らない。各自が選択した分野について、当該分野におけるこれまでの研究動向や関連研究を文献等を通して調査した上で、研究テーマを適切に設定し、現実的な研究計画を立てることを目指す。また、研究背景や目的、独自性や新規性について、プレゼンテーションや文章により正しく伝達するスキルを身につける。</p>	
	<p>(8 佐々木 貴規)</p> <p><b>ネットワークデザインマスター研究 I</b></p> <p>DNAやタンパク質を中心とした生体分子に関するテーマについて、実験及び理論研究を行う。具体的には、情報伝達やイオン輸送に関わる膜タンパク質の物性や、がん・糖尿病などの複雑疾患に関わる遺伝子ネットワークを対象として、現在までに行われてきた研究の背景を文献検索等で把握する。またこれを踏まえて、自身が選択する研究テーマの独自性は何かをよく理解し、図や文面で表現できる能力を養うこと、及び適切な研究計画の立て方を身に付けることを目標とする。</p>	
	<p>(9 森岡 一幸)</p> <p><b>ネットワークデザインマスター研究 I</b></p> <p>自律移動ロボット、環境地図生成、人間共存型ナビゲーション、遠隔操作及び遠隔コミュニケーション、空間知能化、センサーネットワーク、画像処理、センサー情報処理、人間の位置同定・追跡、センサー協調による広域空間認識などを対象として、関連研究の調査、ソフトウェア・ハードウェア設計、システム構築、実験・動作検証、論文執筆、プレゼンテーションなどを行なう。</p>	
	<p>(10 櫻井 義尚)</p> <p><b>ネットワークデザインマスター研究 I</b></p> <p>人の意志決定をデータに基づいて分析・サポートする機械学習システム全般に関する研究、レコメンデーション（情報推薦）、マーケティングリサーチ、スケジューリング、感性検索などの手法およびそのサポートシステムを対象として、関連研究の調査、システム設計・構築、実験・検証、論文執筆、プレゼンテーションなどを行なう。</p>	
	<p>(11 大野 光平)</p> <p><b>ネットワークデザインマスター研究 I</b></p> <p>無線通信技術やレーダ技術について実験、シミュレーションおよび理論研究を行う。高速・高信頼・低消費電力を実現する無線通信の送受信技術、無線周波数利用効率向上を目指した干渉回避やスペクトルセンシング技術、高度交通システムなど新たな利用環境に向けた無線通信技術・レーダ技術、などを対象として関連研究の調査、送受信機のハードウェアの設計、実験、コンピュータシミュレーション、理論解析、プレゼンテーションなどを行う。</p>	
	<p>(12 中田 洋平)</p> <p><b>ネットワークデザインマスター研究 I</b></p> <p>不確実性を伴う問題について、データから問題に接近する技法群の理論・応用に関する研究を行う。具体的には、文献調査などを通して当該研究分野の最先端の研究内容を理解し、従来技術を把握すると共に、その技術的課題などを解き明かす。その中で、独自性、新規性、進捗性などを留意しながら、自身の研究課題の方向性を具体化する。また、自身の研究課題の達成に必要な事項や能力を把握し、研究課題を完遂するための実現可能性の高い研究計画を立案することを目標とする。</p>	
ネットワークデザインマスター研究 II	<p>(概要)</p> <p>ネットワークデザインマスター研究 I に引き続き、ネットワーク応用の研究分野として、環境エネルギー領域、ビジネス工学領域、ライフサポート領域を対象とし、各自の研究テーマにおける新たな手法を提案し、プロトタイプを開発して、提案手法の予備的な性能評価を行う。これらの研究成果は論文としてまとめ、学会で発表することを目指す。各研究指導教員の授業内容は、下記の通りとする。</p>	
	<p>(1 森 啓之)</p> <p><b>ネットワークデザインマスター研究 II</b></p> <p>修士1年生としての研究の第2段階として、スマートグリッド環境下の負荷予測、太陽光発電予測、風力発電予測、電力価格予測、配電自動化、連続型潮流計算、発電機の起動停止問題、送電系統ネットワーク拡張計画、配電系統ネットワーク拡張計画、天候デリバティブ、信頼度解析の何れかの分野において従来法について詳細に研究する。また、複数のインテリジェントシステムを融合したハイブリッドインテリジェントシステムの応用について検討する。</p>	

<p>(2 田村 滋)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅱ</b>  ネットワークデザインマスター研究Ⅰに引き続き、再生可能エネルギーの計画・予測・運用・制御、電力貯蔵設備の運用・制御、電力エネルギーネットワークにこれらの設備を加えた場合の諸問題とその問題を解決するための電力エネルギーネットワークの計画・予測・運用・制御、従来からある電力エネルギーネットワークの設備とこれらの設備との協調運用・制御、再生可能エネルギー導入に対するビジネス評価などを対象として、関連研究の調査、シミュレーション・実験、論文執筆、プレゼンテーションを行う。</p>	
<p>(3 福山 良和)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅱ</b>  電力・ガス・熱・蒸気等の様々なエネルギーに対し、地域内の需要と供給を最適化する技術の理論研究を行う。具体的には、エネルギー供給設備の最適設備計画、運用計画・制御や各種エネルギー消費設備のエネルギーマネジメントを対象とし、自身の研究テーマに対する適切な数理モデルを理解し、これをコンピュータシミュレーションにより実現できる能力を身に付ける。最終的に、この技術を適切なモデルに適用し適切なシミュレーション結果を得られる能力を身に付ける事を目標とする。</p>	
<p>(4 笠 史郎)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅱ</b>  ネットワークデザインマスター研究Ⅰに引き続き、SDN (Software Defined Network) 技術を核としたネットワークデザインについて研究を行う。具体的には、1) Transport SDN技術に関する研究では、光波長信号の到達性を数値指標で表現するための基礎理論を構築する。2) SDN技術のネットワークエッジへの適用に関する研究では、PCを用いてSDN環境の実装と動作確認を行う。3) LiFi技術とSDN技術との連携に関する研究では、簡易なLiFi系の構築を検討する。各自の研究テーマに関して、問題解決方法を見出すことを目標とする。</p>	
<p>(5 吉田 明正)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅱ</b>  ネットワークデザインマスター研究Ⅰに引き続き、マルチコアによる粗粒度タスク並列処理、並列化コンパイラ、メモリ階層を考慮したデータローカリティ最適化、GPUによるメディアアプリケーションの高速化、グリーンコンピューティングを対象として、各自の研究テーマにおける新たな手法を提案し、シミュレーションあるいはプロトタイプソフトウェアを開発して、提案手法の予備的な性能評価を行う。これらの研究成果を論文としてまとめ、学会で発表することを目標とする。</p>	
<p>(6 浦野 昌一)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅱ</b>  ネットワークデザインマスター研究Ⅰに引き続き、エネルギーネットワークの研究テーマに対して、その解決策として数理学、情報技術の新たな応用を提案し、その妥当性を計算機シミュレーションなどにより検証することで研究を実施する。具体的には、エネルギーネットワークへの位相計測情報の応用や直流連系を伴うネットワークの安定性解析、広域連系ネットワークの解析技術などについて、関連研究の調査、ソフトウェア設計、実験検証、論文執筆、プレゼンテーションなどを行う。</p>	
<p>(7 秋岡 明香)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅱ</b>  ネットワークデザインマスター研究Ⅰに引き続き、情報科学分野全般の知識や経験を広く身につけると同時に、各自の興味に応じて特定の分野を深く研究する。具体的には、ゲームフィケーション、人工知能、機械学習、セキュリティ、プログラミング言語、並列分散処理などを主要な分野とするが、これに限らない。各自が選択した分野について、文献調査等について引き続き最新の研究動向を調査すると同時に、問題解決のための設計、実装、検証実験などを行なう。また、これらの成果を論文執筆やプレゼンテーションを通して、世の中に発信するスキルを向上させる。</p>	
<p>(8 佐々木 貴規)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅱ</b>  DNAやタンパク質を中心とした生体分子に関するテーマについて、実験及び理論研究を行う。具体的には、情報伝達やイオン輸送に関わる膜タンパク質を研究対象として、その物性を観測するために必要な計測機器の原理を理解する。一方、がんなどの複雑疾患に関わる遺伝子ネットワークを解析するために必要な数理モデルやコンピュータ技術を理解し、再現できる力を身につける。学んだ研究手法を自身の研究テーマに適用し、実験結果を得ることを目標とする。</p>	



	<p>(9 森岡 一幸)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅱ</b>  ネットワークデザインマスター研究Ⅰに引き続き、自律移動ロボット、環境地図生成、人間共存型ナビゲーション、遠隔操作及び遠隔コミュニケーション、空間知能化、センサーネットワーク、画像処理、センサー情報処理、人間の位置同定・追跡、センサー協調による広域空間認識などを対象として、関連研究の調査、ソフトウェア・ハードウェア設計、システム構築、実験・動作検証、論文執筆、プレゼンテーションなどを行なう。</p>	
	<p>(10 櫻井 義尚)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅱ</b>  ネットワークデザインマスター研究Ⅰに引き続き、人の意志決定をデータに基づいて分析・サポートする機械学習システム全般に関する研究、レコメンデーション（情報推薦）、マーケティングリサーチ、スケジューリング、感性検索などの手法およびそのサポートシステムを対象として、関連研究の調査、システム設計・構築、実験・検証、論文執筆、プレゼンテーションなどを行なう。</p>	
	<p>(11 大野 光平)  ネットワークデザインマスター研究Ⅱ  ネットワークデザインマスター研究Ⅰに引き続き、無線通信技術やレーダ技術について実験、シミュレーションおよび理論研究を行う。高速・高信頼・低消費電力を実現する無線通信の送受信技術、無線周波数利用効率向上を目指した干渉回避やスペクトルセンシング技術、高度交通システムなど新たな利用環境に向けた無線通信技術・レーダ技術、などを対象として関連研究の調査、送受信機のハードウェアの設計、実験、コンピュータシミュレーション、理論解析、プレゼンテーションなどを行う。</p>	
	<p>(12 中田 洋平)  ネットワークデザインマスター研究Ⅱ  ネットワークデザインマスター研究Ⅰに引き続き、不確実性を伴う問題について、データから問題に接近する技法群の理論・応用に関する研究を行う。具体的には、ネットワークデザインマスター研究Ⅰにて具体化した研究課題・研究計画に基づき、研究を実行していく。その中で、更なる文献調査、必要となる理論・技術の習得、実装技術の研鑽なども行い、修士論文執筆に必要な能力の土台を確実に築く。また、適宜、自身の進捗・成果を資料化し、最終的には、国内学会発表なども視野に入れる。</p>	
<p>ネットワークデザインマスター研究Ⅲ</p>	<p>(概要)  ネットワークデザインマスター研究Ⅰ・Ⅱに引き続き、ネットワーク応用の研究分野として、環境エネルギー領域、ビジネス工学領域、ライフサポート領域を対象とし、各自の研究テーマにおける提案手法の改善を行う。また、提案手法の実装と性能評価を行い、その有効性を検証する。これらの研究成果は論文としてまとめ、学会で発表することを目標とする。各研究指導教員の授業内容は、下記の通りとする。</p>	
	<p>(1 森 啓之)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅲ</b>  修士2年生としての第1段階として、オリジナリティがある問題解決法を提案し、その有効性を示すためにシミュレーションを行い、結果について考察する。研究論文の作成法について指導を行う。また、研究成果を国内の学会や海外の国際会議で研究発表する。その際英語に研究発表法についても学習する。さらに今後の研究課題について検討する。</p>	
	<p>(2 田村 滋)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅲ</b>  ネットワークデザインマスター研究Ⅰ・Ⅱに引き続き、再生可能エネルギーの計画・予測・運用・制御、電力貯蔵設備の運用・制御、電力エネルギーネットワークにこれらの設備を加えた場合の諸問題とその問題を解決するための電力エネルギーネットワークの計画・予測・運用・制御、従来からある電力エネルギーネットワークの設備とこれらの設備との協調運用・制御、再生可能エネルギー導入に対するビジネス評価などを対象として、関連研究の調査、シミュレーション・実験、論文執筆、プレゼンテーションを行う。</p>	
	<p>(3 福山 良和)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅲ</b>  電力・ガス・熱・蒸気等の様々なエネルギーに対し、地域内の需要と供給を最適化する技術の理論研究を行う。具体的には、エネルギー供給設備の最適設備計画、運用計画・制御や各種エネルギー消費設備のエネルギーマネジメントを対象とし、自身の研究テーマに対する従来方式と自身が開発した独自方式によるシミュレーション結果を客観的に比較し独自性を検証できる能力を身に付け、学会や各種研究発表会でプレゼンテーションすることを目標とする。</p>	

<p>(4 笠 史郎)</p> <p><b>ネットワークデザインマスター研究Ⅲ</b></p> <p>ネットワークデザインマスター研究Ⅰ・Ⅱに引き続き、SDN (Software Defined Network) 技術を核としたネットワークデザインについて研究を行う。具体的には、1) Transport SDN技術に関する研究では、Transport SDN技術の模擬的な実験を検討する。2) SDN技術のネットワークエッジへの適用に関する研究では、スマートフォン端末へのOpen vSwitch実装を行う。3) LiFi技術とSDN技術との連携に関する研究では、研究の核とすべき問題を抽出しその解決に向けて検討を行っていく。これらの成果をまとめ、学会で発表することを目標とする。</p>	
<p>(5 吉田 明正)</p> <p><b>ネットワークデザインマスター研究Ⅲ</b></p> <p>ネットワークデザインマスター研究Ⅰ・Ⅱに引き続き、マルチコアによる粗粒度タスク並列処理、並列化コンパイラ、メモリ階層を考慮したデータローカリティ最適化、GPUによるメディアアプリケーションの高速化、グリーンコンピューティングを対象として、各自の研究テーマにおける提案手法についてさらなる改善を行う。また、提案手法を実装した並列ソフトウェアを開発して、並列コンピュータ上で性能評価を行い、提案手法の有効性を検証する。これらの研究成果を論文としてまとめ、学会で発表することを目標とする。</p>	
<p>(6 浦野 昌一)</p> <p><b>ネットワークデザインマスター研究Ⅲ</b></p> <p>ネットワークデザインマスター研究Ⅰ、Ⅱに引き続き、エネルギーネットワークの研究テーマに対して、その解決策として数理学、情報技術の新たな応用を提案し、その妥当性を計算機シミュレーションなどにより検証することで研究を実施する。具体的には、エネルギーネットワークへの位相計測情報の応用や直流連系を伴うネットワークの安定性解析、広域連系ネットワークの解析技術などについて、関連研究の調査、ソフトウェア設計、実験検証、論文執筆、プレゼンテーションなどを行う。</p>	
<p>(7 秋岡 明香)</p> <p><b>ネットワークデザインマスター研究Ⅲ</b></p> <p>ネットワークデザインマスター研究ⅠおよびⅡに引き続き、情報科学分野全般の知識や経験を広く身につけると同時に、各自の興味に応じて特定の分野を深く研究する。具体的には、ゲーミフィケーション、人工知能、機械学習、セキュリティ、プログラミング言語、並列分散処理などを主要な分野とするが、これに限らない。各自が選択した分野について、文献調査等について引き続き最新の研究動向を調査すると同時に、問題解決のための設計、実装、検証実験などを行なう。また、これらの成果を論文執筆やプレゼンテーションを通して、世の中に発信するスキルを向上させる。</p>	
<p>(8 佐々木 貴規)</p> <p><b>ネットワークデザインマスター研究Ⅲ</b></p> <p>引き続き、DNAやタンパク質を中心とした生体分子に関するテーマについて、実験及び理論研究を行う。具体的には、情報伝達やイオン輸送に関わる膜タンパク質を研究対象として、特定脂質との結合能や多量体形成メカニズム、そして実際の機能活性を実験調査する。一方、がんなどの重篤な疾患に関わる遺伝子ネットワークをコンピュータ解析し、その発現プロセスを効果的に表現するプログラムを開発する理論研究等を行う。密接なディスカッションを重ね、学会あるいは研究発表会の場でプレゼンテーションすることを目標とする。</p>	
<p>(9 森岡 一幸)</p> <p><b>ネットワークデザインマスター研究Ⅲ</b></p> <p>ネットワークデザインマスター研究Ⅰ・Ⅱに引き続き、自律移動ロボット、環境地図生成、人間共存型ナビゲーション、遠隔操作及び遠隔コミュニケーション、空間知能化、センサーネットワーク、画像処理、センサー情報処理、人間の位置同定・追跡、センサー協調による広域空間認識などを対象として、関連研究の調査、ソフトウェア・ハードウェア設計、システム構築、実験・動作検証、論文執筆、プレゼンテーションなどを行なう。</p>	
<p>(10 櫻井 義尚)</p> <p><b>ネットワークデザインマスター研究Ⅲ</b></p> <p>ネットワークデザインマスター研究Ⅰ・Ⅱに引き続き、人の意志決定をデータに基づいて分析・サポートする機械学習システム全般に関する研究、レコメンデーション (情報推薦)、マーケティングリサーチ、スケジューリング、感性検索などの手法およびそのサポートシステムを対象として、関連研究の調査、システム設計・構築、実験・検証、論文執筆、プレゼンテーションなどを行なう。</p>	

	<p>(11 大野 光平)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅲ</b>  ネットワークデザインマスター研究Ⅰ、Ⅱに引き続き、無線通信技術やレーダ技術について実験、シミュレーションおよび理論研究を行う。高速・高信頼・低消費電力を実現する無線通信の送受信技術、無線周波数利用効率向上を目指した干渉回避やスペクトルセンシング技術、高度交通システムなど新たな利用環境に向けた無線通信技術・レーダ技術、などを対象として関連研究の調査、送受信機のハードウェアの設計、実験、コンピュータシミュレーション、理論解析、プレゼンテーションなどを行う。</p>	
	<p>(12 中田 洋平)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅲ</b>  ネットワークデザインマスター研究Ⅰ、Ⅱに引き続き、不確実性を伴う問題について、データから問題に接近する技法群の理論・応用に関する研究を行う。ネットワークデザインマスター研究Ⅰにて具体化した研究課題・研究計画に基づき、引き続き研究を実行していく。その中で、ネットワークデザインマスター研究Ⅱでの進捗・成果をフィードバックし、必要に応じて、更なる文献調査や種々の技術の習得・研鑽などを行う。また、適宜、これまでの自身の進捗・成果を資料化し、修士論文執筆に備えつつ、積極的に国内学会や国際会議での発表なども狙う。</p>	
<p>ネットワークデザインマスター研究Ⅳ</p>	<p>(概要)  ネットワークデザインマスター研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに引き続き、ネットワーク応用の研究分野として、環境エネルギー領域、ビジネス工学領域、ライフサポート領域を対象とし、各自の研究テーマにおける提案手法の実装と性能評価を行う。これらの研究成果は論文としてまとめ、学会発表や論文誌への投稿を目指して、最終的に修士論文としてまとめることを目標とする。各研究指導教員の授業内容は、下記の通りとする。</p>	
	<p>(1 森 啓之)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅳ</b>  修士2年生としての第2段階として提案法の改良法を提案し、その有効性を示すためにシミュレーションを行い、結果について考察する。その際、解の精度、計算時間の短縮について戦略を考える。また、研究成果を国内の学会や海外の国際会議で研究発表する。さらに今後の研究課題について検討する。さらに、修士論文の作成法について指導を行う。</p>	
	<p>(2 田村 滋)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅳ</b>  ネットワークデザインマスター研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに引き続き、再生可能エネルギーの計画・予測・運用・制御、電力貯蔵設備の運用・制御、電力エネルギーネットワークにこれらの設備を加えた場合の諸問題とその問題を解決するための電力エネルギーネットワークの計画・予測・運用・制御、従来からある電力エネルギーネットワークの設備とこれらの設備との協調運用・制御、再生可能エネルギー導入に対するビジネス評価などを対象として、関連研究の調査、シミュレーション・実験、論文執筆、プレゼンテーションを行う。最終的に、修士論文を執筆する。</p>	
	<p>(3 福山 良和)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅳ</b>  電力・ガス・熱・蒸気等の様々なエネルギーに対し、地域内の需要と供給を最適化する技術の理論研究を行う。具体的には、エネルギー供給設備の最適設備計画、運用計画・制御や各種エネルギー消費設備のエネルギーマネジメントを対象とし、自身の研究テーマに対する密接なディスカッションを通じて、総合的に研究推進力及び問題解決能力を養い、研究の背景・目的・開発方式・結果と考察が論理的に記載された修士論文の完成を目標とする。</p>	
	<p>(4 笠 史郎)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅳ</b>  ネットワークデザインマスター研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに引き続き、SDN (Software Defined Network) 技術を核としたネットワークデザインについて研究を行う。具体的には、1) Transport SDN技術に関する研究では、Transport SDN技術の実システムへの展開を目指す。2) SDN技術のネットワークエッジへの適用に関する研究では、エッジノードとスマートフォン端末等のメディア機器を用いたフロー制御を行う。3) LiFi技術とSDN技術との連携に関する研究では、LiFi系の構築を目指す。これらの研究成果を修士論文としてまとめることを目標とする。</p>	
	<p>(5 吉田 明正)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅳ</b>  ネットワークデザインマスター研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに引き続き、マルチコアによる粗粒度タスク並列処理、並列化コンパイラ、メモリ階層を考慮したデータローカルティ最適化、GPUによるメディアアプリケーションの高速化、グリーンコンピューティングを対象として、各自の研究テーマにおける提案手法を実装した並列ソフトウェアのさらなる改善を行い、並列コンピュータ上で性能評価を行う。これらの研究成果を学会論文として投稿し、最終的に修士論文としてまとめることを目標とする。</p>	

		<p>(6 浦野 昌一)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅳ</b>          ネットワークデザインマスター研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲに引き続き、エネルギーネットワークの研究テーマに対して、その解決策として数理学、情報技術の新たな応用を提案し、その妥当性を計算機シミュレーションなどにより検証することで研究を実施する。具体的には、エネルギーネットワークへの位相計測情報の応用や直流連系を伴うネットワークの安定性解析、広域連系ネットワークの解析技術などについて、関連研究の調査、ソフトウェア設計、実験検証、論文執筆、プレゼンテーションなどを行う。最終的に修士論文を執筆する。</p>	
		<p>(7 秋岡 明香)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅳ</b>          ネットワークデザインマスター研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲに引き続き、情報科学分野全般の知識や経験を広く身につけると同時に、各自の興味に応じて特定の分野を深く研究する。具体的には、ゲーミフィケーション、人工知能、機械学習、セキュリティ、プログラミング言語、並列分散処理などを主要な分野とするが、これに限らない。各自が選択した分野について、文献調査等について引き続き最新の研究動向を調査すると同時に、問題解決のための設計、実装、検証実験などを行なう。また、これらの成果を論文執筆やプレゼンテーションを通して、世の中に発信するスキルを向上させる。また、これまでの成果を修士論文としてまとめる。</p>	
		<p>(8 佐々木 貴規)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅳ</b>          引き続き、DNAやタンパク質を中心とした生体分子に関するテーマについて、実験及び理論研究を行う。具体的には、情報伝達やイオン輸送に関わる膜タンパク質を研究対象として、特定脂質との結合能や多量体形成メカニズム、そして実際の機能活性を実験調査する。一方、がんなどの重篤な疾患に関わる遺伝子ネットワークをコンピュータ解析し、その発現プロセスを効果的に表現するプログラムを開発する理論研究等を行う。研究推進力、問題解決能力を養い、背景/目的/手法/結果と考察が的確に記載された修士論文の完成を目標とする。</p>	
		<p>(9 森岡 一幸)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅳ</b>          ネットワークデザインマスター研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに引き続き、自律移動ロボット、環境地図生成、人間共存型ナビゲーション、遠隔操作及び遠隔コミュニケーション、空間知能化、センサーネットワーク、画像処理、センサー情報処理、人間の位置同定・追跡、センサー協調による広域空間認識などを対象として、関連研究の調査、ソフトウェア・ハードウェア設計、システム構築、実験・動作検証、論文執筆、プレゼンテーションなどを行なう。最終的に、修士論文を執筆する。</p>	
		<p>(10 櫻井 義尚)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅳ</b>          ネットワークデザインマスター研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに引き続き、人の意志決定をデータに基づいて分析・サポートする機械学習システム全般に関する研究、レコメンデーション（情報推薦）、マーケティングリサーチ、スケジューリング、感性検索などの手法およびそのサポートシステムを対象として、関連研究の調査、システム設計・構築、実験・検証、論文執筆、プレゼンテーションなどを行なう。</p>	
		<p>(11 大野 光平)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅳ</b>          ネットワークデザインマスター研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲに引き続き、無線通信技術やレーダ技術について実験、シミュレーションおよび理論研究を行う。高速・高信頼・低消費電力を実現する無線通信の送受信技術、無線周波数利用効率向上を目指した干渉回避やスペクトルセンシング技術、高度交通システムなど新たな利用環境に向けた無線通信技術・レーダ技術、などを対象として関連研究の調査、送受信機のハードウェアの設計、実験、コンピュータシミュレーション、理論解析、プレゼンテーションなどを行う。最終的に、研究成果をまとめて、修士論文を作成する。</p>	
		<p>(12 中田 洋平)  <b>ネットワークデザインマスター研究Ⅳ</b>          ネットワークデザインマスター研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲに引き続き、不確実性を伴う問題について、データから問題に接近する技法群の理論・応用に関する研究を行う。自身の研究課題・研究計画に基づき、その完遂を目指す。具体的には、ネットワークデザインマスター研究Ⅲまでの進捗・成果をフィードバックし、完遂に必要な残された課題を把握し、自身の研究課題を期間内に完成させる。更に完成させた研究成果をブラッシュアップする。また、適宜、自身の進捗・成果を資料化し、最終的に修士論文執筆、修士論文発表を行う。</p>	

特修科目	再生可能エネルギー特論	<p>(概要) 電力エネルギーネットワークにおける風力発電, 太陽光発電の計画, 運用方法を学ぶ。再生可能エネルギーが導入された場合の電力エネルギーネットワークへの影響を少なくするために, エネルギー源となる風, 日射量の変化の問題点・特徴, その特徴を鑑みての電力貯蔵設備を用いての電力エネルギー制御方法を理解する。また, それらの事業性を評価することにより, ビジネスケースも算定する。再生可能エネルギーの活用方法を理解することを目標とする。</p>	
	配電自動化システム特論	<p>(概要) 配電システムの一般的な特徴および諸外国から見た我が国の配電システムの特徴を踏まえ, 配電自動化に必要な機能について習得し, さらにどのようなステップでこれまで配電自動化が実現されてきたかを学ぶ。さらに, 配電自動化を行う上での共通の解析・最適化手法について習得し, 今後のスマートグリッド環境において必要となる配電自動化の様々な新しい機能についての最新のトピックスについて学ぶ。</p>	
	グリーンコンピューティング特論	<p>(概要) HPC (High Performance Computing) 分野では, マルチコアを搭載した並列コンピュータを用いて, 並列分散処理を行うことにより高速化を実現している。並列コンピュータの実効性能を向上させるために, コア数を増加させて計算速度を高めているが, その一方で全コアで消費される電力を軽減することが重要になってきている。本授業では, 並列分散処理技術に加えて, DVFS (Dynamic Voltage and Frequency Scaling) のようなプロセッサの低消費電力化技術を学ぶことを目標とする。</p>	
	アセットマネジメント特論	<p>(概要) エネルギーネットワークは膨大な量の様々な設備により構成される巨大ネットワークである。アセットマネジメントは, 設備を適切に管理し, 合理的な設備形成を行うことを目的とする。本講義では, このエネルギーネットワークを構成する諸設備とそれを診断する劣化予測技術, 劣化診断技術について解説する。また, 信頼性と経済性を評価することによる適切な設備更新の意思決定方法についても解説する。本講義を通してエネルギーネットワークのアセットマネジメントを習得することを目標とする。</p>	
	エネルギーマーケット特論	<p>(概要) 本講義では, 電力市場における電力価格の時系列解析についてIEEE (米国電気電子学会) 等の論文誌論文を使用して学ぶ。電力価格の時系列解析は大きな不確定性をもつため, 高精度な予測手法が要求されている。不確定性を取り扱うため, 予測値の平均値と不確定性の幅(エラーバー)の高精度評価が課題となっている。</p>	

大規模データベース特論	<p>(概要) 近年の大量かつ高速なデータストリームと、その利用目的、および使用する主要な解析技術に応じたデータベースシステム構築技術について学ぶ。データベースシステムの選択と設計は、アプリケーションのパフォーマンスに大きなインパクトを持つことや、各データベースシステムの特徴、アプリケーション特性とそれに呼応する今後のデータベースシステムの技術動向などを、実習を通して理解することを目指す。</p>	
ウェブインテリジェンス特論	<p>(概要) ウェブを利用した機械学習システムについて学ぶ。具体的には、ツイッターやFacebookなどSNSの情報を分析するウェブマイニング、検索情報などのユーザ情報を基に情報推薦を行うレコメンダーシステム、ウェブを利用したウェブマーケティングなどを実現する手法や、システムについて学ぶ。ウェブインテリジェンスの考え方や応用事例、主要な手法の考え方や特性について理論的背景を含めて学び、実問題へと応用する力をつける事を目指す。</p>	
確率統計的学習特論	<p>(概要) 近年のデータ流通の加速化、データ蓄積量の膨大化、データ形態の多様化、計算機能力の充実化などを背景に、莫大なデータを活用し、有用な何かを得ようとする技術の更なる発展が望まれていきている。本科目では、このような技術の中でも、特に不確実性の高い問題を扱う際に必須となる確率・統計的な枠組みでの機械学習・パターン認識技術に着目する。確率・統計的モデルによりデータの背後にある構造・仕組みを解き明かす技法群を習得し、当該研究分野の最先端の研究内容を理解できるようになることを目標とする。</p>	
ロボット情報学特論	<p>(概要) ロボットシステムを構築するためのソフトウェアについて学ぶ。ROSやRTMといったプラットフォーム上で、コンポーネント指向のソフトウェアシステムを実際に構築することで、その重要性を理解する。開発したコンポーネント等を外部のコンテスト等へ出展し、外部評価を受けることも目標とする。その際、コンポーネントの仕様やマニュアルの整備なども評価対象になるので、技術資料のまとめ方も学習する。</p>	
バイオインフォマティクス特論	<p>(概要) 遺伝子発現やタンパク質間相互作用に関連した生命情報科学について、基礎的な内容からいくつかの先端的テーマまでを取り扱う。これまでに蓄積されてきた種々の実験的データ（各種オミックスデータ、立体構造解析等）がどのような原理に基づくものか、丁寧に説明する。それらを踏まえて、生命情報をシステムとして再構築し、医薬・工学的な応用を目指した研究分野やツールに触れ、バイオインフォマティクス研究の最先端で行われている内容を理解できるレベルまで到達することを目指す。</p>	
ワイヤレスシステム特論	<p>(概要) 最新の高速・大容量無線通信を支えているアンテナ・伝播技術、変復調技術、無線アクセス技術について学ぶ。これらの基礎的な技術からMIMO、OFDMなど近年の無線システムの中核となっている技術まで、数式や一般的なモデルを使って理論的に導くことや、実際の環境にて利用した場合を示し、解説する。これより、理論と実用の双方の問題点を明らかにし、その解決策について考察する。また、近年、無線技術は通信のみならず、GPSに代表されるような距離測定技術、位置特定技術が重要となっている。そのため、これら技術についても併せて説明する。</p>	

<p>ビジネスイノベーション特論</p>	<p>(概要) 本講義ではオムニバス形式でビジネスを変えるイノベーションを生み出す仕組みについて学ぶ。イノベーションに関係する主な要因としてネットワーク、組織構造、プロセス、製品性能、製品システム、チャネル、ブランド、顧客エンゲージメントなど関係している。これらを利用して、持続的に成功するためのイノベーションについて学習する。また、各種ケーススタディを用いてビジネスイノベーションについて学ぶ。</p>	
<p>アドバンストフィールドスタディ</p>	<p>(概要) 本講義は、春学期集中科目であり、2部構成される。第1部ではネットワークデザインに関係する複数の企業訪問をする。そのことによって企業ではどのようなことを実際に行っているかを見学する。それらの企業とネットワークデザインの接点について研究する。また、企業における求められる人物像、必要とされる専門知識について学習する。第2部では訪問先で得られたことを基にして、企業研究の発表を行い、訪問した企業あるいはその業界について一層の知識を高める。</p> <p>(1 森 啓之, 3 福山 良和 : 全回2名で担当する) 第 1～10回 合計 4 社の企業を数日間にわたって、訪問・見学する。</p> <p>第11～12回 企業への訪問・見学について振り返りを行い、研究発表プレゼンテーションに向けてパワーポイントを作成し、準備する。</p> <p>第13～14回 訪問した企業に関する研究発表 (プレゼンテーション)</p>	<p>共同</p>
<p>共通総合科目 先端数理科学研究総合講義 A</p>	<p>(概要) 本講義では大規模、複雑化する電力システムの運用・計画に関連する電力システム解析における主な基礎技術について学ぶ。電力システム工学は、電力ネットワークを効率的に円滑に行うためにシステム工学に基づいた学問領域である。電力ネットワークが時代とともに技術変遷する特徴を持つため、新しい技術が求められている横断的分野でもある。本講義では、電力システム工学において「系統解析」とよばれる基本技術、具体的には、電力システムのセキュリティコントロール、状態推定、安定度解析、配電自動化について学ぶ。</p> <p>第 1回 (1 森 啓之) オリエンテーション</p> <p>第 2回 (2 田村 滋) 電力システムのセキュリティコントロール</p> <p>第 3回 (2 田村 滋) 電力システムの状態推定</p> <p>第 4回 (3 福山 良和) 配電システムの自動化1</p> <p>第 5回 (3 福山 良和) 配電システムの自動化2</p> <p>第 6回 (14 熊野 照久) 電力システムの動態安定度解析</p> <p>第 7回 (15 伊庭 健二) 電力システムの過渡安定度解析</p>	<p>オムニバス</p>

	<p>第 8回 (14 熊野 照久) テスト・アンケート</p> <p>第 9回 (15 伊庭 健二) 電力システムの電圧安定度解析</p> <p>第10回 (15 伊庭 健二) 電力システムの経済負荷配分</p> <p>第11回 (16 永田 真幸) 送電システムの信頼度評価</p> <p>第12回 (17 飯坂 達也) 電力負荷予測</p> <p>第13回 (18 久保川 淳司) 電力システムの発電機起動停止問題</p> <p>第14回 (18 久保川 淳司) 電力システムの経済負荷配分</p>	
先端数理科学研究総合講義 B	<p>(概要) 本講義では、従来の電力システムとは異なる環境である電力自由化、スマートグリッド環境下の電力システムについての最近の話題について学ぶ。本講義では具体的には、2つに構成されている。1つは、電力自由化関連の話題である。もう1つは、スマートグリッド関連の話題である。本講義では具体的には再生可能エネルギー（風力発電システム、太陽光発電システム）と確率的評価、スマートグリッド、Demand Response (DR), PMU (Phasor Measurement Unit) 応用、ビッグデータ解析について学習する。</p> <p>第 1回 (14 熊野 照久) オリエンテーション</p> <p>第 2回 (1 森 啓之) 電力システムのビッグデータ解析</p> <p>第 3回 (1 森 啓之) テスト・アンケート</p> <p>第 4回 (6 浦野 昌一) PMUの電力システムへの応用</p> <p>第 5回 (19 山口 順之) スマートグリッド</p> <p>第 6回 (19 山口 順之) Demand Response</p> <p>第 7回 (20 澤 敏之) 競争環境下の電力システムの運用</p>	オムニバス



		<p>第 8回 (20 澤 敏之) 競争環境下の電力システムの計画</p> <p>第 9回 (21 岡田 健司) 分散型電源と電力システムの自由化</p> <p>第10回 (21 岡田 健司) 電力システムの自由化の歴史</p> <p>第11回 (22 石田 隆張) 電気自動車</p> <p>第12回 (17 飯坂 達也) 風力発電予測</p> <p>第13回 (23 加藤 政一) エネルギー問題と再生可能エネルギー</p> <p>第14回 (23 加藤 政一) 再生可能電源導入可能量の確率的評価</p>	
Advanced Writing Skills for Graduate Study in Mathematics		<p>(概要) This course will provide graduate students with skills necessary to produce academic papers written in English in the field of mathematics. Among the issues to be considered are structure, register, lexis, and stylistic elements of graduate-level academic discourse. Corpus analysis will be employed to examine lexical, morphological, and structural usage in published work, and vocabulary enhancement and stylistic elements necessary to create transparent, effective narratives also constitute course components. We will also deal with writing short yet crucially important vignettes such as abstracts, summaries, and conference proposals.</p> <p>(以下, 和訳) 本講義では、数理学分野の学術論文を執筆するために必要な技術を学ぶ。数ある課題の中でも大学院生レベルの範囲で、論理構造、言語形態、語彙、語法を学ぶ必要がある。まず、既存の出版物のコーパスを用いて、語彙、形態、そして構造的な利用方法を確認し、透過的、効率的、話術的、語法的な強化を行う。学会論文の概要、要約、会議提案などにおいて、短くても決定的な影響を及ぼす修飾法についても身に着ける。</p>	

(注)

- 1 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

授 業 科 目 の 概 要			
(先端数理科学研究科ネットワークデザイン専攻(D))			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
(研究指導)	(研究指導)	(概要) ネットワークデザイン専攻では、ネットワーク応用分野として、環境エネルギー領域、ビジネス工学領域、ライフサポート領域を対象とする。各研究指導教員の研究指導内容を下記に示す。	
		(1 森 啓之) スマートグリッドの運用と計画の問題解決の手法として、大規模電力システムの高速計算手法、大域的最適化手法として進化的計算法および多目的進化計算法、カーネルマシンによる非線形時系列予測、因果関係を明らかにするデータマイニングやグラフィカルモデリングの応用を研究する。次に、複数のインテリジェントシステムを融合したハイブリッドインテリジェントシステムの応用について研究を行う。性能評価では提案手法の有効性を示すためにシミュレーションを行う。研究成果は海外の国際会議等で発表する。最終的に、博士論文の作成法について指導を行う。	
		(2 田村 滋) 電力エネルギーにおけるCO2フリー社会を実現するための技術に関する研究を行う。具体的には、再生可能エネルギーや電力貯蔵設備の計画・予測・運用・制御、電力エネルギーネットワークにこれらの設備が導入された場合の計画・予測・運用・制御、従来からある設備とこれらの設備との協調運用・制御、再生可能エネルギー導入に対するビジネス評価などを対象として、シミュレーション・実験を行う。これらの研究成果を論文としてまとめ、学会発表および学会誌論文投稿を行う。最終的に博士論文としてまとめることを目標とする。	
		(3 福山 良和) 電力・ガス・熱・蒸気等の様々なエネルギーに対し、地域内の需要と供給を最適化する技術の理論研究を行う。具体的には、エネルギー供給設備の最適設備計画、運用計画・制御や各種エネルギー消費設備のエネルギーマネジメントを対象とし、自身の研究テーマに対する適切な数理モデルを理解し、これをコンピュータシミュレーションにより実現する。また、自身の研究テーマに対する密接なディスカッションを通じて、総合的に研究推進力及び問題解決能力を養い、研究の背景・目的・開発方式・結果と考察が論理的に記載された博士論文の完成を目標とする。	
		(4 笠 史郎) SDN (Software Defined Network) 技術を核として、物理レイヤからアプリケーションレイヤまでの一貫したネットワークデザインについて研究を行う。具体的には、1) Transport SDN技術に関する研究では、光の物理層についての基礎事項を研究し、SDN技術と連携させる。2) SDN技術のネットワークエッジへの適用に関する研究では、SDN環境の実装とOpen vSwitchによるフロー制御を行う。3) LiFi技術とSDN技術との連携に関する研究では、LiFi系を構築する。これらの研究成果を学会発表し、博士論文としてまとめることを目標とする。	
(5 吉田 明正) 計算科学アプリケーションを高速化するための並列分散処理に関する研究を行う。具体的には、マルチコアによる粗粒度タスク並列処理、並列化コンパイラ、メモリ階層を考慮したデータローカルティ最適化、GPUによるメディアアプリケーションの高速化、グリーンコンピューティングを対象として、各研究テーマの提案手法を実装した並列ソフトウェアを開発し、並列コンピュータ上で性能評価を行う。これらの研究成果を論文としてまとめ、学会発表および学会誌論文投稿を行う。最終的に博士論文としてまとめることを目標とする。			

		<p>(6 佐々木 貴規) 生体分子ネットワークやタンパク質の物性に関する理解は、生命科学者として研究を遂行してゆく上での重要な基礎となる。博士後期課程では、主にエネルギー産生に関与する生体分子ネットワークや膜タンパク質に焦点をあてた研究テーマについて指導を行う。生体分子ネットワークについては、大量のオミックスデータから本質的な相互作用情報を抽出するためのバイオインフォマティクス研究を、膜タンパク質についてはその機能と構造の相関や立体構造の安定性等について、生化学的な研究を实践させ、論文完成までの指導を行う。</p>	
		<p>(7 森岡 一幸) 自律移動ロボット、環境地図生成、人間共存型ナビゲーション、遠隔操作及び遠隔コミュニケーション、空間知能化、センサーネットワーク、画像処理、センサー情報処理、人間の位置同定・追跡、センサー協調による広域空間認識などの分野を研究対象として、関連研究の調査、ソフトウェア・ハードウェア設計、システム構築、実験・動作検証、論文執筆、プレゼンテーション等を行なう。研究成果は国内外の学会で発表し、最終的に、博士論文を執筆することを目標とする。</p>	
		<p>(8 櫻井 義尚) 人の意志決定をデータに基づいて分析・サポートする機械学習システム全般に関する研究、レコメンデーション（情報推薦）、マーケティングリサーチ、スケジューリング、感性検索などの手法およびそのサポートシステムを対象として、関連研究の調査、システム設計・構築、実験・検証、論文執筆、プレゼンテーション、ディスカッションなどを行なう。研究成果は国内の学会、海外の国際会議等で発表し、最終的に、博士論文を執筆することを目標とする。</p>	
( 発展講義科目 )	先端数理科学発展講義 A	<p>(概要) 本授業では、現象数理学専攻の「モデリング領域」「シミュレーション領域」「数理解析領域」、先端メディアサイエンス専攻の「人間系領域」、コンピュータ系領域、「インタラクション系領域」、ネットワークデザイン専攻の「環境エネルギー領域」「ビジネス工学領域」「ライフサポート領域」を対象とし、各自の研究分野に関する最先端の研究・技術・ニーズに関する調査、考察、討論を行う。これらを通して、各自の研究分野の理解を深め、主体的に新たな研究テーマを開拓する独創力を養うことを目標とする。</p>	
	先端数理科学発展講義 B	<p>(概要) 本授業では、現象数理学専攻の「モデリング領域」「シミュレーション領域」「数理解析領域」、先端メディアサイエンス専攻の「人間系領域」、コンピュータ系領域、「インタラクション系領域」、ネットワークデザイン専攻の「環境エネルギー領域」「ビジネス工学領域」「ライフサポート領域」を対象とし、各自の研究分野に関する最先端の研究・技術・ニーズに関する調査、考察、討論を行う。これらを通して、各自の研究分野の理解を深め、主体的に研究テーマの問題を解決する能力を養うことを目標とする。</p>	

(注)

- 1 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の取容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

学校法人明治大学 設置認可等に関わる組織の移行表

平成28年度				平成29年度				変更の事由			
入学定員	編入学定員	収容定員		入学定員	編入学定員	収容定員		入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
<b>明治大学</b>											
法学部	法学部	800	—	3,200	法学部	法学部	800	—	3,200		
商学部	商学部	1,000	—	4,000	商学部	商学部	1,000	—	4,000		
政治経済学部	政治経済学部	250	—	1,000	政治経済学部	政治経済学部	250	—	1,000		
	経済学科	610	—	2,440		経済学科	610	—	2,440		
	地域行政学科	140	—	560		地域行政学科	140	—	560		
文学部	文学部	415	—	1,660	文学部	文学部	415	—	1,660		
	史学地理学科	260	—	1,040		史学地理学科	260	—	1,040		
	心理社会学科	100	—	400		心理社会学科	100	—	400		
理工学部	理工学部	205	—	820	理工学部	理工学部	205	—	820		
	電気電子生命学科	205	—	820		電気電子生命学科	205	—	820		
	機械工学科	120	—	480		機械工学科	120	—	480		
	機械情報工学科	120	—	480		機械情報工学科	120	—	480		
	建築学科	150	—	600		建築学科	150	—	600		
	応用化学科	110	—	440		応用化学科	110	—	440		
	情報科学科	110	—	440		情報科学科	110	—	440		
	数学科	55	—	220		数学科	55	—	220		
	物理学科	55	—	220		物理学科	55	—	220		
農学部	農学部	130	—	520	農学部	農学部	130	—	520		
	食糧環境政策学科	130	—	520		食糧環境政策学科	130	—	520		
	農芸化学科	130	—	520		農芸化学科	130	—	520		
	生命科学科	130	—	520		生命科学科	130	—	520		
経営学部	経営学部	400	—	1,600	経営学部	経営学部	400	—	1,600		
	経営学科	400	—	1,600		経営学科	400	—	1,600		
	会計学科	150	—	600		会計学科	150	—	600		
	公共経営学科	100	—	400		公共経営学科	100	—	400		
情報コミュニケーション学部	情報コミュニケーション学部	450	—	1,800	情報コミュニケーション学部	情報コミュニケーション学部	450	—	1,800		
国際日本学部	国際日本学部	350	—	1,400	国際日本学部	国際日本学部	350	—	1,400		
総合数理学部	総合数理学部	80	—	320	総合数理学部	総合数理学部	80	—	320		
	先端メディアサイエンス学科	100	—	400		先端メディアサイエンス学科	100	—	400		
	ネットワークデザイン学科	80	—	320		ネットワークデザイン学科	80	—	320		
	計	6,730	—	26,920		計	6,730	—	26,920		
<b>明治大学大学院</b>											
法学研究科	法学研究科	20	—	40	法学研究科	法学研究科	20	—	40		
	公法学専攻(M)	20	—	40		公法学専攻(M)	20	—	40		
	公法学専攻(D)	6	—	18		公法学専攻(D)	6	—	18		
	民法学専攻(M)	20	—	40		民法学専攻(M)	20	—	40		
	民法学専攻(D)	6	—	18		民法学専攻(D)	6	—	18		
商学研究科	商学研究科	35	—	70	商学研究科	商学研究科	35	—	70		
	商学専攻(M)	35	—	70		商学専攻(M)	35	—	70		
	商学専攻(D)	6	—	18		商学専攻(D)	6	—	18		
政治経済学研究科	政治経済学研究科	25	—	50	政治経済学研究科	政治経済学研究科	25	—	50		
	政治学専攻(M)	25	—	50		政治学専攻(M)	25	—	50		
	政治学専攻(D)	5	—	15		政治学専攻(D)	5	—	15		
	経済学専攻(M)	35	—	70		経済学専攻(M)	35	—	70		
	経済学専攻(D)	7	—	21		経済学専攻(D)	7	—	21		
経営学研究科	経営学研究科	40	—	80	経営学研究科	経営学研究科	40	—	80		
	経営学専攻(M)	40	—	80		経営学専攻(M)	40	—	80		
	経営学専攻(D)	8	—	24		経営学専攻(D)	8	—	24		
文学研究科	文学研究科	6	—	12	文学研究科	文学研究科	6	—	12		
	日本文学専攻(M)	6	—	12		日本文学専攻(M)	6	—	12		
	日本文学専攻(D)	2	—	6		日本文学専攻(D)	2	—	6		
	英文学専攻(M)	6	—	12		英文学専攻(M)	6	—	12		
	英文学専攻(D)	2	—	6		英文学専攻(D)	2	—	6		
	仏文学専攻(M)	6	—	12		仏文学専攻(M)	6	—	12		
	仏文学専攻(D)	2	—	6		仏文学専攻(D)	2	—	6		
	独文学専攻(M)	6	—	12		独文学専攻(M)	6	—	12		
	独文学専攻(D)	2	—	6		独文学専攻(D)	2	—	6		
	演劇学専攻(M)	6	—	12		演劇学専攻(M)	6	—	12		
	演劇学専攻(D)	1	—	3		演劇学専攻(D)	1	—	3		
	文芸メディア専攻(M)	6	—	12		文芸メディア専攻(M)	6	—	12		
	史学専攻(M)	25	—	50		史学専攻(M)	25	—	50		
	史学専攻(D)	6	—	18		史学専攻(D)	6	—	18		
	地理学専攻(M)	5	—	10		地理学専攻(M)	5	—	10		
	地理学専攻(D)	2	—	6		地理学専攻(D)	2	—	6		
	臨床人間学専攻(M)	14	—	28		臨床人間学専攻(M)	14	—	28		
	臨床人間学専攻(D)	4	—	12		臨床人間学専攻(D)	4	—	12		
理工学研究科	理工学研究科	75	—	150	理工学研究科	理工学研究科	82	—	164		定員変更(7)
	電気工学専攻(M)	75	—	150		電気工学専攻(M)	82	—	164		定員変更(7)
	電気工学専攻(D)	6	—	18		電気工学専攻(D)	6	—	18		
	機械工学専攻(M)	77	—	154		機械工学専攻(M)	86	—	172		定員変更(9)
	機械工学専攻(D)	7	—	21		機械工学専攻(D)	7	—	21		
	建築学専攻(M)	76	—	152		建築学専攻(M)	0	—	0		募集停止
	建築学専攻(D)	5	—	15		建築学専攻(D)	0	—	0		募集停止
	応用化学専攻(M)	35	—	70		応用化学専攻(M)	40	—	80		定員変更(5)
	応用化学専攻(D)	5	—	15		応用化学専攻(D)	5	—	15		
	基礎理工学専攻(M)	61	—	122		基礎理工学専攻(M)	0	—	0		募集停止
	基礎理工学専攻(D)	10	—	30		基礎理工学専攻(D)	0	—	0		募集停止
	新領域創造専攻(M)	35	—	70		新領域創造専攻(M)	0	—	0		募集停止
	新領域創造専攻(D)	5	—	15		新領域創造専攻(D)	0	—	0		募集停止
						建築・都市学専攻(M)	80	—	160		専攻の設置(届出)
						建築・都市学専攻(D)	7	—	21		専攻の設置(届出)

農学研究科	農芸化学専攻(M)	26	—	52
	農芸化学専攻(D)	2	—	6
	農学専攻(M)	20	—	40
	農学専攻(D)	2	—	6
	農業経済学専攻(M)	8	—	16
	農業経済学専攻(D)	2	—	6
	生命科学専攻(M)	26	—	52
	生命科学専攻(D)	2	—	6
情報コミュニケーション研究科	情報コミュニケーション学専攻(M)	25	—	50
	情報コミュニケーション学専攻(D)	6	—	18
教養デザイン研究科	教養デザイン専攻(M)	20	—	40
	教養デザイン専攻(D)	4	—	12
先端数理科学研究科	現象数学専攻(M)	15	—	30
	現象数学専攻(D)	5	—	15
国際日本学研究科	国際日本学専攻(M)	20	—	40
	国際日本学専攻(D)	5	—	15
グローバル・ガバナンス研究科	グローバル・ガバナンス専攻(D)	5	—	15
明治大学法科大学院				
法務研究科	法務専攻(P)	120	—	360
明治大学専門職大学院				
ガバナンス研究科	ガバナンス専攻(P)	55	—	110
グローバル・ビジネス研究科	グローバル・ビジネス専攻(P)	80	—	160
会計専門職研究科	会計専門職専攻(P)	80	—	160
計		1,239		2,728

農学研究科	情報科学専攻(M)	40	—	80	専攻の設置(届出)
	情報科学専攻(D)	3	—	9	専攻の設置(届出)
	数学専攻(M)	15	—	30	専攻の設置(届出)
	数学専攻(D)	3	—	9	専攻の設置(届出)
	物理学専攻(M)	16	—	32	専攻の設置(届出)
	物理学専攻(D)	3	—	9	専攻の設置(届出)
農学研究科	農芸化学専攻(M)	26	—	52	
	農芸化学専攻(D)	2	—	6	
	農学専攻(M)	20	—	40	
	農学専攻(D)	2	—	6	
	農業経済学専攻(M)	8	—	16	
	農業経済学専攻(D)	2	—	6	
	生命科学専攻(M)	26	—	52	
	生命科学専攻(D)	2	—	6	
情報コミュニケーション研究科	情報コミュニケーション学専攻(M)	25	—	50	
	情報コミュニケーション学専攻(D)	6	—	18	
教養デザイン研究科	教養デザイン専攻(M)	20	—	40	
	教養デザイン専攻(D)	4	—	12	
先端数理科学研究科	現象数学専攻(M)	20	—	40	定員変更(5)
	現象数学専攻(D)	5	—	15	
	先端メディアサイエンス専攻(M)	45	—	90	専攻の設置(届出)
	先端メディアサイエンス専攻(D)	6	—	18	専攻の設置(届出)
	ネットワークデザイン専攻(M)	36	—	72	専攻の設置(届出)
	ネットワークデザイン専攻(D)	3	—	9	専攻の設置(届出)
国際日本学研究科	国際日本学専攻(M)	20	—	40	
	国際日本学専攻(D)	5	—	15	
グローバル・ガバナンス研究科	グローバル・ガバナンス専攻(D)	5	—	15	
明治大学法科大学院					
法務研究科	法務専攻(P)	120	—	360	
明治大学専門職大学院					
ガバナンス研究科	ガバナンス専攻(P)	55	—	110	
グローバル・ビジネス研究科	グローバル・ビジネス専攻(P)	80	—	160	
会計専門職研究科	会計専門職専攻(P)	80	—	160	
計		1,330		2,915	